

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 JFEサンソセンター		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-0931 広島県福山市鋼管町1番地	
本票作成	部署名：技術課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	酸素、窒素、アルゴンガス、その他の工業用ガス並びに医薬品の製造販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉敷工場		倉敷市水島川崎通1丁目	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和2年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和5年度)
	518,213 t CO ₂	589,870 t CO ₂	514,000 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	倉敷工場	589,870 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和3年度	～	令和5年度	(3箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△2.0%	0.8%	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(単位：百万Nm ³)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		230,933 t CO ₂ /(百万Nm ³)	242,147 t CO ₂ /(百万Nm ³)	229,085 t CO ₂ /(百万Nm ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等
	圧縮ガス・液化ガス製造業(その他事業者)	0.157 kl/千Nm ³ 以下	0.136 kl/千Nm ³	115.4%

【削減状況の自己評価】

省エネ中長期計画書に基づくエネルギー削減活動を実施し、消費エネルギー削減効果があった。しかしながら、主要機械の故障及び需給調整等によって、近年、低効率である10号空気分離装置の稼働率が上昇し、最終年である本年度は削減目標を達成できなかった。(10号空気分離装置稼働日数：R5:82日、R4:177日、R3:297日、R2:5日)

【推進体制】

工場長をトップとした提案委員会等による改善管理体制のもと、環境改善を推進。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
倉敷工場	<p>(令和5年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none">・冬期期間(11月～3月)において、12号空気分離装置付属冷凍機の稼働台数を1台削減する運用を開始した。・2023年9月末にアルゴン送給設備を設置し、需給調整に合わせた13/14号空気分離装置の減量移行時間を削減することによって、需給調整に伴うエネルギーロス削減できた。・13号空気分離装置のDCSのソフト改造を行い、新たに運転モード(中圧酸素ガス最大モード)を追加した。運転モード最適化によって圧縮機電力の削減を行った。 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none">・春秋期における10号空気分離装置付属冷凍機の運転台数の最適化・データ収集システムを用いた空気分離装置の運転最適化・10/11/12号空気分離装置における加温ガス種の変更による圧縮機電力の削減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】